

大泉

「自律」

「協働」

「創造」

令和7年5月21日
発行者 大槻 亨
編集 本田 敏行

第2号

笑顔あふれる運動会に

校長 大槻 亨

いよいよ5月24日（土）に、第78回運動会を迎えます。これまで、生徒たちはこの日のために、個人種目、学年種目、そして大中ソーランやよさこいといった表現種目に、精一杯練習に取り組んでまいりました。755名の生徒一人ひとりが運動会という舞台で躍動する姿を、今から心待ちにしています。

さて、5月の朝礼では、運動会の意義と目的について、二つのことを生徒たちに伝えました。

一つ目は、クラス、学年、そして学校全体の連帯感と一体感を育み、仲間と喜びを分かち合うことの素晴らしさを体験するということです。

750名を超える生徒が一堂に会し、練習の成果を発揮し、仲間とともに一生懸命に演技をする。互いに協力し、クラスのために懸命に頑張り、応援し合うことを通して、クラスや学年の絆は一層深まり、団結力が高まることでしょう。また、大中ソーランやよさこいでは、一つ一つの動きを大切にし、皆で息を合わせ、心を一つにして演技することで、深い一体感と充実感を得られるはずです。一人ひとりの真剣な取組が集結し、生徒全体を輝かせ、観る人々に大きな感動を与えることは間違いありません。

二つ目は、上級生が模範を示すという、本校の伝統である「大中プライド」を受け継ぐ大切な機会とすることです。3年生は最上級生としての誇りと責任を果たし、下級生はその姿をしっかりと目に焼き付けることができる貴重な機会となります。

日々の体育の授業においても、学年を超えて合同で練習を行い、ダンスなどの動きを先輩が後輩に教えたり、ダンスリーダーを中心に上級生から下級生へと丁寧に指導したりする様子が多く見られます。また、係活動においても、生徒会や専門委員会が中心となり、様々な仕事を先輩が後輩へと伝えています。運動会当日、上級生のひたむきな姿から多くを学び取り、「大中プライド」をしっかりと受け継いでいってほしいと願っています。

では、これらの目的を達成するために、生徒たちには何が必要でしょうか。

一つ目は、「自律」して行動することです。ただ指示されたことをこなすのではなく、自分の役割を理解し、クラスのために何ができるかを考え、主体的に行動することが大切です。

二つ目は、「協働」することです。クラスの中には、運動が得意な生徒もいれば、そうでない生徒もいます。しかし、それぞれが異なる役割を担い、それを皆で支え合うことが重要です。それこそが、クラスや学年のチームの力を高め、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮することにつながるはずです。

三つ目は、「創造」することです。運動会の練習期間中には、クラスの勝利という目標に向かって、互いの意見がぶつかり合うこともあるでしょう。しかし、自分の考えをしっかりと伝え、相手の考えを丁寧に理解することで、一つ一つの良い点が見えてきます。異なる考え方を組み合わせることで、これまでになかった新しい方法を生み出すことができるのです。

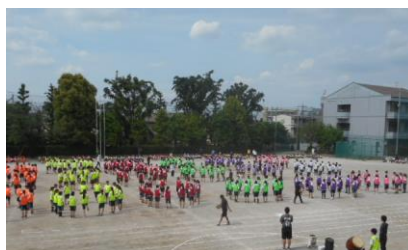
「自律」「協働」「創造」という3つの取組を通して、運動会のスローガンである「勝波笑美戦」に込められた、笑顔あふれる素晴らしい運動会となることを心から期待しています。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ぜひ当日ご来場いただき、生徒たちの精一杯の頑張りに、温かい励ましの拍手と声援をお願い申し上げます。

【運動会練習風景より】



3年生学年種目大ムカデ
皆で声と歩幅を合わせる
のが大変!写真からもその
掛け声が聞こえてきます!



全学年女子による Yosakoi
は北の大地の雄大さを表現し
ています。隊形の変化にもご
注目!



全学年男子によるソーランは
力強さと掛け声、そして体全
体を使ってダイナミックさを表
現しています。ご期待を!

◎命の授業を実施しました。

5月12日(月)の学活の時間に人権を基盤とした教育プログラムの一環として「命の安全教育」の授業を全学年で実施しました。

学習の目的には、心と体には、距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようになり、よりよい人間関係の構築を目指す。また、SNS 等で見えない相手とつながることの危険性について考え、自己防衛への意識を高めさせました。授業を受けた後の生徒の感想をまとめました。ご一読ください。

- ・自分のことは自分で守る。自分の意見ははっきりと伝える。
- ・インターネット上での友達は信頼しない。またインターネットで話した人と一人で会わない。
- ・個人の権利を考え尊重し、相手との関わり方について考えていく。
- ・相手との適切な距離感を考え、常に気持ちの良い学校生活が送れるように心がけていく。
- ・不安なことがあったらすぐに信頼できる大人に相談する。
- ・相手が嫌がることは絶対しない。自分に置き換えて考え行動する。
- ・SNS の正しい使い方を学び、遊び心で中傷誹謗的なメッセージを発信するようなことはしない。